



認定特定非営利活動法人 フードバンク関西

<https://foodbankkansai.org/>

企業や個人から寄贈された食品を、支援を必要とする人達を支える非営利団体に無償で分配する活動をしています。

topic
01

家庭からの食品ロスを減らしましょう！ フードドライブで神戸市と協働

フードドライブは、家庭で余った食品を持ち寄り、フードバンクを通じて食べ物として再利用する仕組みで、本年度から、神戸市環境局が神戸市内の食品ロス削減のためにフードドライブを積極的に実施する事になり、当法人はフードドライブで集めた食品を福祉的に活用する部分で神戸市と協働することになりました。神戸市が市内の量販店へ協力を促し、月1回1週間、店舗レジ横にフードドライブのブースが設置され、そこに市民が余剰となった賞味期限以内の未開封食品を持ち寄り、回収された食品を当法人が検品、仕分け、



福祉施設への分配、食のセーフティネット事業での活用等、ダイエー店舗でのアピール再利用を進めていくという取り組みです。ダイエーは1月から阪神間と神戸市内10店舗で、イオンは6月から神戸市内7店舗で、コープこうべも年2回全店舗で開催する事になりました。まずは自分の足元から食品ロスをなくそうという意識が社会に根付くよう、私達も取り組みを推進していきます。

イオン店頭での告知

topic
02

はじめての取り組みです！ 映画上映&パネルトークイベント開催

◇「もったいない」を「ハッピー」に！
フードロスについて考える映画&トーク◇



10月の「世界食料デー」にあわせて、映画『0(ゼロ)円キッチン』の上映会とパネルトークのイベントを開催いたします。

『0(ゼロ)円キッチン』は、2015年にオーストラリアで初公開された“食品ロス”を題材にした映画で、公開後から現在も、世界各地の様々なイベントや集まりで上映され続け、食品廃棄の問題を投げかけています。

イベント第一部ではこの映画を上映。第2部では、映画を通して見えてくる食品ロス（フードロス）問題、その食品ロスの削減に取り組むフードバンクの活動についてゲストを交えたパネルトークを行います。観客参加型のトーク会で、みなさんと食糧問題を語り合いたいと思います。ぜひご参加ください。

- 開催：2018年10月28日（日）
- 会場：神戸アートビレッジセンター 2F KAVCホール

新年度を迎えます

代表ごあいさつ

新拠点を得て、活動を次のステップへ！

私たちの活動は16年目に入りました。今年1月に念願の事務所移転を果たしました。新事務所兼倉庫は幹線道路に近く、阪神芦屋駅から徒歩5分と便利な場所にあります。4階建てアパートの1階で60坪の広さ。カゴ車、台車が活用でき、ボランティアさんにも快適な環境の中で作業をしていただけるようになったことを嬉しく思います。移転には、872万円ほど経費が掛かりましたが、特別支出として計上することができました。これも私たちの活動に深いご理解とご賛同して下さる多くの方のご支援があればこそです。心より感謝申し上げます。

今後の活動で力を注ぎたいのは、子ども達を真ん中にした事業です。一つ目は「子ども元氣ネットワーク」。これは支援を必要とする母子世帯を他のNPOと連携して多面的に支えていくプロジェクトで、1家庭に月1回食品を送り届けています。昨年度の月40世帯から今年度は少なくとも60世帯に、できればもっと支援世帯数を増やしていきたいと思えます。

二つ目は「子ども食堂」の支援です。「兵庫こども食堂ネットワーク」も発足から1年半を経過し、ネットワーク会議も毎回内容が充実しており、運営している方々の熱意を感じます。当法人は、これからも食材支援を重ねて、地域の子供食堂を側面から支援をしていきます。

フードバンク関西は、本年度初めて85人のボランティア集団となりました。それぞれが多様な能力を発揮し今の運営が成り立っており、ボランティアの皆さんの活躍に感謝しています。今後さらに組織基盤の強化を図り、皆さんが働き甲斐を十分に感じながら、全体の中での役割と立ち位置を自覚できる組織にしていきたいと考えます。今年度も、皆で力を合わせて、フードバンク関西の第2ステージのステップアップとするべく、さらに内容の充実と拡大を図っていきたく考えます。皆様のご理解とさらなるご支援をお願い致します。

フードバンク関西代表 浅峯めぐみ



新事務所玄関にて、ボランティアスタッフ。

平成29年度事業報告 (事業期間：平成29年9月1日～平成30年8月31日)

事業活動の状況

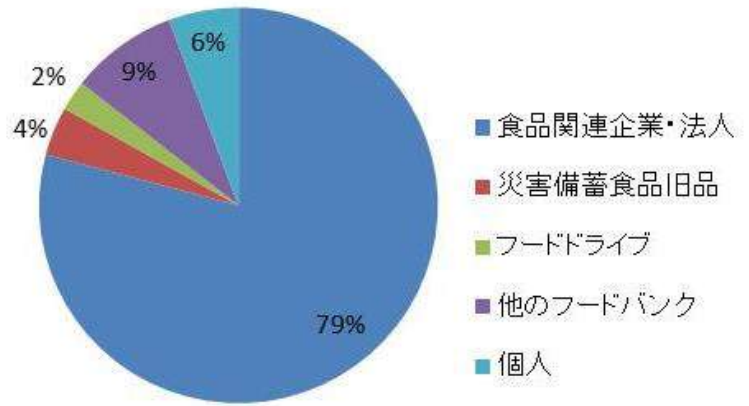
本年度も昨年度に続いて、当法人は、企業や個人から、「商品としては扱えない、使いきれないが、食べ物としては安全で美味しく全く問題のない食品」の寄贈を受け、それらの食品を下記の4つの事業、即ち(1)フードバンク事業、(2)食のセーフティネット事業、(3)子ども元気ネットワーク事業、(4)子ども食堂支援事業を通じて、支援を必要とする人達に無償で譲渡しました。各事業の本年度の成果を報告します。

(1)フードバンク事業 食品の回収と福祉施設への無償配布

本年度は、新たに10社の食品関連企業と合意書をかかわし、11社の企業と災害備蓄食品の提供に関する確認書の交換を行いました。また、近隣の2農業者から平飼卵や有機栽培トマトの提供が始まり、受取団体にとっても喜ばれています。当法人が寄贈を受けた食品を活用する、支援を必要とする人達を支える団体、福祉施設数は、子ども食堂を含めて、2018年度末現在で、106団体になりました。今期、新たに受け取り団体になった14団体の内、8団体が子ども食堂でした。

入庫明細	企業または団体数 あるいは実施回数	引き取り 重量(kg)
食品関連企業・法人	計70社	178,983
災害備蓄食品旧品	計37社	9,041
フードドライブ	計48回	5,556
他のフードバンク	3団体・58回	19,783
個人	計742回	12,805

2017年度取扱食品量内訳



(2)食のセーフティネット事業

平成24年から着手した、一時的に困窮した市民を対象にした行政との協働による食のセーフティネット事業では、行政や社会福祉協議会からの支援要請を受けて、緊急に食支援を必要とする一般市民に対し、一人当たり1週間分の食糧を提供しています。本年度末現在で、4市と8社協、1事業所と事業協定を締結しており、支援件数は477件(受益者人数723人)となりました。

自治体(4市)	尼崎市、宝塚市、高砂市、加西市
社会福祉協議会(8協議会)	芦屋、西宮、伊丹、川西、宝塚、神戸市東灘区、神戸市兵庫区、三田
団体(1団体)	ワーカーズコープ姫路

●「第4回食のセーフティネット実務者による研修会」開催(6/22)

ファシリテーターとして関西大学社会学部大学院教授の松原一郎先生をお迎えし、事業協定を締結、あるいは検討中の各行政機関、社会福祉協議会担当者51名が集まり、各地域の食のセーフティネット活用状況等の情報交換を行いました。地域のフードドライブ回収食品や行政保管の災害備蓄食品の交換時旧品を活用する等、地域ごとの食のセーフティネットを作り、その中の手段の一つとして、当法人からの食支援を位置づけようとしている傾向が今回の研修会での議論の中で見えてきました。

(3)子ども元気ネットワーク事業

平成27年から認定NPO法人ウィメンズネットこうべ、NPO法人フリーヘルプ、認定NPO法人いくの学園と当法人が連携して、「子ども元気ネットワーク関西」を立ちあげ、困窮する母子世帯に対し、連携して支援をする事業に取り組んでいます。本年度、当法人は母子家庭約40世帯に、毎月1回、食品を宅配便で届けました。対象母子世帯からの受領書の通信欄に書かれた子どもや母親達のメッセージから、この月1回の定期的食支援が、明日へのエネルギーの一助でもあることが伝わり、この事業の効果を実感することができます。今後も長く継続したい事業です。

(4)子ども食堂支援事業

子どもの生活環境が変化し、共働き、片親世帯の増加に伴い、一人で夕食を食べる子どもの数が増加しています。子どもの孤食、欠食を懸念し、地域に安心できる子どもの居場所を作り、そこで手作りの食事を皆で楽しむ子ども食堂が増加しています。

当法人は子ども食堂を支援する取り組みを2016年度から始めました。本年度末時点で子ども食堂15団体に食材支援をすると同時に、兵庫県南部で子ども食堂を運営している団体を会員にして、「兵庫子ども食堂ネットワーク」(本年度末で52団体)を立ち上げ事務局を引き受けています。兵庫県南部で子ども食堂を運営する団体がお互いに繋がり、グループメールによる情報共有と2か月1回程度のネットワーク会議に参加する事で、密接な情報交換、子ども食堂運営上の問題や困難さを共有しています。またこの会議に、各地域の行政、社会福祉協議会、企業等も参加しているので、子ども食堂運営団体を支える外部のサポート体制を構築していくことも目指しています。



みんなで食べるとおいしいね!



地域住民のサポートが運営の大きな力です。

広報活動

定期刊行物の発行

当法人の総合的な活動紹介をするパンフレットとして「年次報告書」を4月に発行しました。諸行事やイベントで、多くの市民の皆様にお配りする「活動紹介チラシ」(A4三つ折り)は昨年度に作りなおし、便利に活用しています。「フードバンク関西ニュース」は、昨年度までの年3回発行から年2回に変更しました。約1700部を、賛助会員、ご支援下さる皆様、受取団体、食品提供企業あてに発送しています。当法人の活動に関心を示して下さる皆様に、日々の活動の様子が具体的に伝わるよう、分かりやすく読みやすいニュースレター作りに努力してまいります。

公式ホームページ、SNS(FaceBook)の活用

現在の活動をリアルタイムでお知らせできる媒体として、インターネットを利用した情報発信に注力していきます。公式ホームページのほかに、公式Facebookにて随時情報を公開しています。ホームページを通じて、食品寄贈や寄付の申し込み、ボランティア参加希望、活動についての質問メール等が多数届きます。お問い合わせを24時間受け付けられる効果は大きいと感じます。さらに、クレジットカードを使った寄付の仕組みも新設し、ホームページやFaceBookからアクセスできるようにしています。

フードバンク関西の運営について

賛助会費、寄付、および助成金

●賛助会員からの年会費、一般の皆様からの寄付・個人、法人を合わせて延531件で、フードバンク関西の年間運営費を支える大きな柱となりました。またご支援下さる皆様からの温かな支えによって、念願の事務所移転という大事業を成し遂げる事ができました。ボランティア一同、効率よく作業に励むことができようになり、事業自体も将来へ向けて次の飛躍への展望が持てるようになったことを、感謝を込めてご報告申し上げます。

●受領した助成金・・ジョンソン・エンド・ジョンソン社会貢献委員会、オリックス財団、コミュニティサポートセンター神戸、パブリックリソースセンターのギブワン寄付からの支援金を受領することができました。これらの助成により、運営資金調達に不安を抱かずに各事業に積極的に取り組むことができました。

●個人の皆様からの食品寄付は、本年度1年間で742件、重量は12.8トンでした。その内8.4トンはお米で、当法人のお米は、個人の皆様からの寄付によって大半を賄っています。今後とも支援食品として欠く事ができないお米のご寄付をお願い致します。通常、当法人に提供される食品は、ペットボトル飲料、菓子類、カップ麺等、商品の種類が多い嗜好食品が多くなる傾向があり、要支援者が最も必要とする食事の主食、副菜にすぐに使えるレトルト食品、おかず缶詰類は集まりにくい状況が続いています。このミスマッチをどう解決するかが課題となります。



上)新鮮な野菜は支援先に大変喜ばれます。右)お米を毎年定期的に支援して下さる方も、ありがとうございます。

平成29年度収入				平成29年度支出	
ご支援の種類	合計	個人	法人	費目	金額
正会員会費	280,000円	28名		事業費 食品搬送	1,975,997円
賛助会員会費	2,581,000円	139件	117件	事業費 交通費	1,308,820円
寄付・募金	7,487,039円	247件	28件	事業費 消耗品費	1,439,600円
ラッフル寄付	590,000円	153件		事業費 賃借料	2,587,712円
助成金	5,334,075円		4件	事業費 その他経費	3,764,480円
その他の収入	508,760円			管理費	1,470,834円
経常収入合計	16,788,874円			経常支出合計	12,547,443円
				経常収支差額	4,241,431円
				特別支出(移転)	8,720,330円

今後の展望

日本では、食べられるのに廃棄される食品が毎年6百万トンを超えるといわれる現状があります。そういった食品を企業や個人から寄贈を受け、食料支援を必要とする人達に無償で分配するフードバンクは、今後さらに事業を拡大発展する必要があります。フードバンク関西は「食べ物を大切に」という理念を貫いて、現在実施しているフードバンク事業での食品取扱量の増加と内容の充実を図り、「食のセーフティネット事業」「子ども元気ネットワーク」「子ども食堂への支援」の各分野での取り組みを強化し、誰もが食べ物が足りなくて困るという事のない、安心して暮らせる地域社会作りに貢献していきたいと考えます。ボランティア一同、皆様のご支援を背に受けて、努力を継続していきます。今後とも、フードバンク関西の活動に、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

topic 03 企業様からの支援の輪が広がっています。
兵庫子ども食堂ネットワーク会議



第7回となる本件会議（9月19日）は、子ども食堂19団体に企業や行政などのオブザーバー9名とフードバンク関西ボランティアを加え総勢51名の参加となりました。

今回は、ネットワーク会則案が承認され、子ども食堂運営団体から代表、副代表を選出することになり、ネットワークとしての機能を充実させていく新たな第一歩を踏み出します。

さらに、社会貢献の取り組みとして、業務スーパーを展開する株式会社神戸物産さんから、食材や人材を提供し、それを使って月1回1か所の子ども食堂と「業務スーパー×子ども食堂」を開催する企画が提案されました。またコープこうべさんからは、各子ども食堂の最寄り店舗から、販売期限切れの食品をご提供いただけることになったと報告がありました。今後も多くの企業からの支援の取り組みを、このネットワークを通じて個々の子ども食堂につないでいきたいと思えます。

topic 05 少しずつ認知が定着してきました。
「幸せの黄色いレシートキャンペーン」

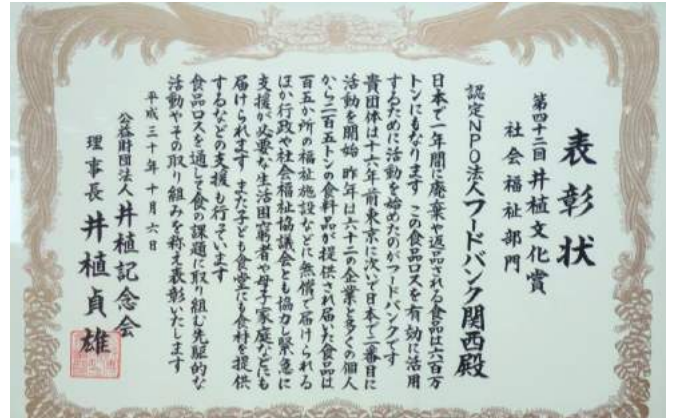
イオン系列の量販店で毎月11日に実施されている「幸せの黄色いレシートキャンペーン」に本年度から登録を4店舗に増やし、積極的に取り組んでいます。毎月11日に、買い物客が、レジ横に設置される、応援したい市民団体名の書かれたボックスの中に、黄色いレシートを入れると、量販店から団体に、ボックスに集まったレシートの年間合計額の1%が

お買い物カードでプレゼントされます。年に2~3回キャンペーン当日に、当法人のボックスが置かれている量販店店頭で、ボランティアが活動をアピールします。また贈られたお買い物カードで、フードバンク事業では入手しにくい、レトルト食品やおかず缶詰等を多数購入し、母子世帯支援や緊急支援食品として活用しています。



topic 04 地域社会への貢献が認められました。
井植財団文化賞受賞のお知らせ

文化芸術や社会福祉など6つの分野で活躍する兵庫ゆかりの個人・団体をたたえる「第42回井植文化賞」の社会福祉部門で当法人が受賞をしました。この賞は、三洋電機創業者の故井植歳男氏の遺財を基に設立された公益財団法人・井植記念会が創設したもので、過去には当法人とかわりのある「ウィメンズネット・こうべ」さんも受賞されています。



topic 06 こちらは今年で10回目！！
恒例の「ラッフルキルト」ご案内

ラッフルとは「くじ付き寄付」のことです。今年で10回目の開催となる当団体のこのイベントは、寄付をしてくださった方に抽選でキルト作品などが当たるという仕組みです。今年も「キルトリーダーズ兵庫」の先生たちやキルト同好会の仲間が心を込めた作品がプレゼントされます。また、ご協賛企業からの賞品も多彩に集まっています。ふるってご応募ください。

あなたのご支援で、「もったいない」を「ありがとう」に！

ご寄付・賛助会費のお支払方法はコチラです。

クレジットカードで手軽に寄付ができます！

●公式ホームページから

<https://foodbankkansai.org/donate-money/>

●次の寄付サイトからも寄付ができます。

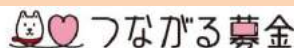
Give One (ギブワン)

<http://www.giveone.net/>



つながる募金

<https://www.softbank.jp/mobile/service/tsunagaru-bokin/>



●郵便振替

郵便局窓口でご入金下さい。

口座番号：

00940-4-221867

●銀行振込

三井住友銀行 芦屋駅前支店

口座番号:4032415

※どちらも口座名義は

特定非営利活動法人フードバンク関西

認定特定非営利活動法人 フードバンク関西 <https://foodbankkansai.org/>

神戸市東灘区深江本町1-8-16 バレル芦屋101 TEL/FAX : 078-855-7025

e-mail : foodbank05@yahoo.co.jp

フードバンク関西は、神戸市「協働と参画」推進助成を受けて活動しています